

ひとりで悩んでいませんか？

学校を休みがちなお子さんをお持ちの保護者のみなさま

一緒に話してみませんか

ひがしむらやまの会



Twitter

@chottohottosiyo

(学校を休みがちな子どものことを考える親の会)

子どもが学校を休みがちになると親はとっても心配。でも、相談する相手はなかなか見つからない・・・
親しい間柄だからこそ言えない悩みもある。そんな時に同じ悩みを抱える大人どうしが集まって話すことで、
気づきがあったり、ほっと出来たり、元氣になれたらいいなと思っています。

事前連絡不要です。直接会場へお越しください。

11月23日(土) 市民センター 第4会議室 19:00-21:00

12月14日(土) 中央公民館 第5集会室 19:00-21:00

1月25日(土) 会場未定 19:00-21:00

◎以降の予定はお問い合わせいただくか、Twitterにてご確認ください

毎月第4土曜日の夜、東村山駅付近の会場を予定しています。

都合により変更する場合があります。ご注意ください。

参加費 300円(会場費や資料代など)

お気に入りの飲み物をお持ちください。ゆったりお話ししましょう。

ご不明な点があれば以下へお問い合わせください

E-mail miyachanmiyachan@nifty.com (世話人 木村)

タイトルに<ひがしむらやまの会について>とお書きください。

☆ひがしむらやまの会は *東京総合教育センターの支援を受けています。

(このご案内チラシは公民館・図書館・市役所などにも置いてあります)

お約束 : 皆さんが安心して悩みやつらさを持ち寄れるように、以下のことを大切にします。

☆ 会では悩みや思いをいろいろお話しください。話したくない方は聞いているだけでも大丈夫です。

☆ この会で見聞きしたことは、その場だけのこととして、外に出さないようにしましょう。

☆ 話している方の思いを大事にして聞きあいましょう。

☆ 自分の体験を伝える時は、受け止める方の気持ちを考え、批判や押し付けにならないよう気を付けましょう。

☆ 宗教や政治団体への勧誘はお断りします。

*東京総合教育センター

子育てのこと、教育のこと、仕事のこと、

ひとりで悩んでいませんか？**教育相談室**では

専門の相談員が、無料で、相談をお受けします。

03-3230-1063 平日 14-17時

夜間相談は金曜日 17-20時

不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)

28 文科初第 770 号
平成 28 年 9 月 14 日

◎各都道府県教育委員会教育長あてに通知されたものの抜粋です

不登校については、取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得ることとして捉える必要がある。

不登校とは、多様な要因・背景により、結果として不登校状態になっているということであり、その行為を「問題行動」と判断してはならない。不登校児童生徒が悪いという根強い偏見を払拭し、学校・家庭・社会が不登校児童生徒に寄り添い共感的理解と受容の姿勢を持つことが、児童生徒の自己肯定感を高めるためにも重要であり、周囲の大人との信頼関係を構築していく過程が社会性や人間性の伸長につながり、結果として児童生徒の社会的自立につながることが期待される。

不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があること。また、児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意すること。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1375981.htm

下線は当方で付け加えたものです

<不登校関連の本>

10歳からの見守りBOOK	西野流「ゆる親」のすすめ<下>だいじょうぶのタネをまこう	西野博之著	ジャパンマシニスト社
揺れつ戻りつ思春期の峠	高垣忠一郎著	新日本出版社	
子どもは『育ちなおし』の名人!	広木克行著	清風堂書店	
不登校かな?!と思ったときに読む本	田中登志道著	佼成社出版社	
“育つ”こと“育てる”こと	子どものころに寄り添って	田中哲著	いのちのことは社
不登校でも大丈夫	末富晶著	岩波ジュニア新書	
学校に行きたくない君へ	全国不登校新聞社編	ポプラ社	
9月1日 母からのバトン	樹木希林/内田也哉子著	ポプラ社	

不登校のことを書いた書籍はこの他にもたくさんあります。

上記は世話人がほっとしたり励ましてもらったもの、信頼できる方にお勧めいただいたものです。書店や図書館でお手に取ってみてください。ちょっと違うなと感じた方は、また別の本を探していただくと良いかと思います。